

図書館だより

目次

国立国会図書館関西館を訪ねて	——出渕 敬子	1
「今、学生にすすめる本」特集（その13）		
——百々 佑利子	天野 晴子	2
溝部 優実子	佐藤 達郎	
阿部 隆	岩田 正美	3
増淵 宗一	林 忠一郎	
展示「 ^{あなた} 貴女もなれるか『目白と雑司ヶ谷の達人』!!!」	——伊藤 寿和	4
日本女子大学図書館のご案内	——山村 いづみ	7



国立国会図書館関西館を訪ねて

出渕 敬子

本誌114号に国際子ども図書館について書いたが、昨秋国会図書館にもう一つの分館が開かれた。関西文化学術研究都市の一角にある国会図書館関西館である。1月も末のある日、近鉄京都線新祝園（しんほうその）駅からバスで10分の小高い丘の上に立つこの新図書館を訪ねた。付近一帯は建物もなく、時折冬空に風花が舞い、全館ガラス張りの建物は氷の宮殿のように見えた。重々しい石造りの図書館を想像していた私は、その軽やかな現代風の建築に一瞬戸惑いを憶えたが、中に入ってみると、余計なものをすべて削ぎ落としたようなモダンな心地よい空間が広がっていた。ガラスの壁面を通して中庭の照葉樹が見え、閲覧室の天井からは、自然の採光が人工の照明と溶け合うよう独特な工夫が施されている。4階には、大きな山桃の木が植えられた屋上庭園があり、あたりの丘陵の眺望を楽しむことができる。言ってみれば、この図書館はできる限り壁にさえぎられず、自然を近くに感じられるように工夫されているのだ。そう言えば、図書館の入り口が簡素な自動扉1枚で外界を区切っている点にも、図書館を自然や日常から離れた場所ではなく、気軽に入って読書や調べものをする居心地よい場所にしたいという設計者のコンセプトが感じられる。21世紀の図書館は何よりもまず開かれた場所でありたいというメッセージと受けとった。

さて肝心の蔵書にはどんな特色があるのだろうか。蔵書は開架式と閉架式に分かれて収蔵されている。現在のところ、洋図書より和図書、和雑誌より洋雑誌を多く所蔵しているが、大きな特色は閲覧室の一隅にある「アジア情報室」に見られる。これはアジア関係の専門図書館ともいべきもので、中国語、朝鮮語をはじめ、トルコ、オスマン、ベトナム、タイ、アラビア、インドネシア、マレーシア、ヒンディー、モンゴル、ビルマなど各語の資料を所蔵し、専門員が資料探しの相談にのってくれる。「アジアの時代」といわれる今日、この部門の役割は今後ますます重要になるだろう。その他、科学技術関係資料、国内外の博士論文、電子資料などに重点が置かれている。

このような関西館が東京永田町にある本館と連携し、役割分担していることは当然である。本館と分館の間のみでなく、全国の大学あるいは公共図書館から電子ネットワークによって蔵書の閲覧やコピーの依頼ができる。（利用者登録をしておくで役立つ。）竹内哲氏は「これからの図書館は館種の違いを超え、広い地域の人々に図書館サービスを提供するという、大きなイメージが定着すると思う。」（『図書館雑誌』2003. 1）と言われている。そのための「大きな図書館網の構築」は、すでに多くの図書館が進められているが、本学からも図書館ネットワークにより、居ながらにして関西館の蔵書を調べることができる。しかし実際に訪ねて見た新図書館のたたずまいは、コンピュータの窓からは見られない何かを教えてくださいましたことも確かである。（図書館長・英文学科教授）

「今、学生にすすめる本」特集（その13）

■百々 佑利子（児童学科教授）

アーサー・ランサム著 神宮輝夫訳 『ロンドンのボヘミアン』 白水社 2000年

「自分に正直なものの書きは、自作を失敗だと思っている。」このような出だしで自伝の青春編をつづるもの書きは、のちに『ツバメ号とアマゾン号』ほか、児童文学の傑作を生んだアーサー・ランサムである。23歳のランサムは「一人で暮らしたい」という願いに突き動かされてロンドンへ出る。時代や国を問わず、若者は自由への希求をもって大都会へとびだすものだ。通称ボヘミア（ロンドンの一郭）にたむろする未来の芸術家達は、機知に富んだ談論を主食とし、飢えながらも意気軒昂、自立の誇りとワインに酔いしれ、芸術論をたたかわせた。助け合い、いたずらをしかけ、競い合う誰もが、ひとかどの詩人、作家、画家、彫刻家、俳優になる夢をかかえていた。ランサムも若々しい感性をみがいてボヘミアを卒業したひとりである。『ロンドンのボヘミアン』は、若い心をとらえずにはおかないだろう。何よりも訳文が、すばらしく上等な日本語体験になるだろう。

■天野 晴子（家政経済学科助教授）

ジョセフ・E・スティグリッツ著 鈴木主税訳 『世界を不幸にしたグローバリズムの正体』 徳間書店 2002年

2001年ノーベル経済学賞受賞者といわれてわからなくても、わかりやすい経済学入門書として世界的に定評あるテキストを書いたスティグリッツといえどご存知の方も多だろう。その彼による『世界を不幸にした・・・』は昨年5月末に翻訳が出されて以降、経済書ではベストセラーになっているから、大型書店にいけば目立つところに平積みになっている位の売れ筋である。スティグリッツが同書を書こうとしたのは、世界銀行の中枢に入って、グローバリゼーションが発展途上国に及ぼす「破壊的な影響」を目の当たりにしたこととされる。内容は、グローバリズムそのものの否定ではなく、IMF等の国際機関によるグローバリゼーションの進め方を批判し、現実には何が起こったのか、それはなぜか、誰が得をしたのかが赤裸々に明らかにされている。「話題の本」としておすすめしたい1冊である。

■溝部 優実子（日本文学科助手）

金城一紀著 『GO』 講談社 2000年

エッジの効いた青春が描かれた、まぎれもない「恋愛小説」。現在絶滅に瀕している強い父（元ボクサー！）と息子の、ナイーブかつ暴力的な関係が、何とも魅力的である。エッセンスは、主人公杉原が《在日朝鮮人》であるということである。最近とみに耳にする《在日》というコトバ、その内実を私たちはどこまで知っているのだろうか。《在日》三世の手になったこの小説は、等身大の彼らのリアリティーを伝える。あくまでポップに先鋭的に。「俺は《在日》でも、韓国人でも、朝鮮人でも、モンゴロイドでもねえんだ。俺を狭いところに押し込めるのはやめてくれ。俺は俺なんだ。」という叫びに集約される杉原の「生」は、ナショナル・アイデンティティーの民族・歴史に取りこまれた煩雑さをつきつける。本書は映画化され、2001年度日本アカデミー賞を総なめにした。主演は窪塚洋介、脇を山崎努、大竹しのぶ、柴咲コウがかためる。こちらも必見である。

■佐藤 達郎（英文学科助教授）

① 井筒俊彦著 『コーランを読む』（井筒俊彦著作集 第8巻） 中央公論社 1991年

② プラトン著 久保勉訳 『饗宴』 岩波文庫 1952年 改版1965年

「近代人は精神を殺すすべてのものを好んでいる」ポール・ヴァレリーの言葉である。すべてが手軽で、インスタントでなければ耐えられない時代であって、静かに古典と対峙する精神の集中と持続力は、確実に減退している。時には、情報の洪水を避けて、図書館を散策し、名著と向き合う機会を作って欲しい。古典を読むには、それなりの労苦と精力が伴う。だが、その努力を厭わぬことが、豊かなこころを培うための第一歩となるのではないだろうか。①私にとって、この本ほど、古典というテキストを読むことの恐ろしさと面白さを教えてくれた書物はなかった。②西欧思想の二大潮流であるプラトンとアリストテレス。アリストテレスは難解すぎるかもしれないが、プラトンの『饗宴』は、まるで物語を読むような喜びを与えてくれる。

■阿部 隆（現代社会学科教授）

ユン・チアン著 土屋京子訳 『ワイルド・スワン 上・下』 講談社 1993年

著者は戦後の中国に生まれた女性であるが、この書の全編にわたる冷徹なまでに「事実」を記録し、社会の裏面を解き明かす筆致は、女性の手による書であることを感じさせない。しかし、女性なるがゆえに、「生きる」ということの本質を見据えた説得力に満ちた書であるともいえる。

原著は1991年にイギリスで出版され、祖母・母・娘という三代の女性が20世紀の中国をいかに生きたのかを、毛沢東への崇拜と失望という思想的な大変革を基盤として描いたものであり、「ノンフィクション」文学として欧米で高く評価された。その後、そこに取り上げられた「事実」が本当にフィクションを含まないものであるのかについて疑問を呈する批評家も現れ、中国の改革開放政策が経済的成果を上げ、「文化大革命」の実態を伝える多くの書が出版されるようになるにつれて、その評価は一時ほどではなくなった。しかし、今読み直しても、混乱の中を生き抜く筆者の生命力には圧倒されるものを感じ、学生諸姉にも一度は読んでいただきたい本の1つであるといえる。

■岩田 正美（社会福祉学科教授）

ポール・ウィリス著 熊沢誠・山田潤訳 『ハマータウンの野郎ども』 ちくま学芸文庫 筑摩書房 1996年

わが国でも最近「不平等」が問題になっているが、英国は貧困・不平等研究が伝統的に盛んな国であり、さまざまな「科学的」調査を生み出してきた。この中で貧困や不平等は資本主義社会の構造的産物であることが明らかにされたが、しかし奇妙なことに「落ちこぼれた」子どもたちや労働者の下位に居る人々が、彼らの位置を好んで選択するような行動に出ることがある。この階級に独自の文化の存在とそれを超えていく「希望」を、ハマータウンと仮に呼んだ中学校の生徒集団の生活誌を通じて丹念に検討したのが本書である。文化人類学の生活誌という手法を社会調査にもちこんだ名作として評価が高い。英国映画の至宝ケン・ローチ監督の『ケス』や近作『Sweet Sixteen』等で描かれたビターな現実に関心を持っていた人、さらには参与観察や生活誌といった研究手法に興味を持っているあなた、にこの本をお薦めする。

■増淵 宗一（文化学科教授）

「ビデオ・ライブラリー」のすすめ

最近、図書館の「ビデオ・ライブラリー」は、従来のいかにも「教材もの」というおかないビデオのほかに、幅が広がり、「ドキュメントもの」や「映画」なども増え、楽しめるものが少しずつ増えてきている。

たとえばディカプリオが一人二役で双子のルイ十四世を演じた映画「仮面の男」や、バレエ好きのルイ十四世と作曲家リュリをテーマにした「王は踊る」などを映画館で観て、ルイ十四世時代の周辺をさらに知りたくなれば、父王ルイ十三世時代の映画「三銃士」のビデオ（全2巻）が西生田図書館にある。これは1921年、アメリカで製作された白黒映画、A・デュマ原作の「三銃士」を最初に映画化したもので、ダルタニアンを名優フェアバンクスが演じ、その時代がかった演出が今となっては妙に新鮮で、十分に楽しめる。

■林 忠一郎（数物科学科助教授）

小野田博一著 『論理思考力を鍛える本』 日本実業出版社 2002年

最近ロジカル・シンキングが流行っているようで、経済の雑誌に論理思考の特集が組まれているのを見たことがあります。そこで紹介されていた So What ? Why So ? や MECE はとても重要です。

そのような実際的な論理の他に、「逆は必ずしも真ならず」といった方面の論理学を学ぶことは正しい推論を行う上でとても有益です。本書はその入り口と応用を多くの具体例を用いて解説しています。

数ヶ月前、某学習塾の広告の中で犯人当てクイズが紹介されました。幾人かの被疑者の発言を手掛かりにして犯人を言い当てる問題です。そういった論理パズルを考えれば、楽しみながら論理思考力が身に付きます。本書は簡単な問題から始めて、ちょっと複雑な論理パズルまで読者を導きます。

また、最後の章では、実際的な議論の欠陥を見抜く練習を行います。

展示「^{あなた}貴女もなれるか『目白と雑司ヶ谷の達人』!!!」

伊藤 寿和



2002年12月16日から2003年5月10日までの予定で、本学目白図書館玄関ホールにて、上記のテーマで小さな展示をおこなっています。

私は文学部の史学科に所属しており、主に史学科の1～2年生にむけて「地理学の方法」と言う授業を開講しています。この授業では、史学科の学生たちに対して、現地調査のイロハを講じるとともに、教室の中だけではどうしても伝えきれない現地調査の実例の一貫として、新旧の地図を片手に日本女子大の周辺を歩いています。本年度の講義では、前期に、不忍通りと清土の鬼子母神、弦巻川の跡と雑司ヶ谷の旧宣教師館、音羽通りの鳩山邸、後期には、旧熊本細川藩下屋敷の新江戸川公園、雑司ヶ谷鬼子母神、護国寺へと、合計6回に分けて、授業時間の90分で廻れるコースを設定しました。昨年度は、早稲田方面にも足をのぼし、早稲田大学と大隈講堂、穴八幡宮、高田馬場、甘泉園公園と高田富士も実見してきました。

日本女子大の周辺には、護国寺や雑司ヶ谷鬼子母神、さらには新江戸川公園など、江戸時代以来の名所や旧跡が数多く残されています。山手線の内側に位置する大学の中で、このように多くの名所・旧跡に囲まれている大学は稀有と言っても良いでしょう。日本女子大に通いながらも、交通の便が良いがために、かえって女子大と目白駅もしくは護国寺駅との間を通学するのみで、意外に日本女子大の周辺に残されている名所・旧跡をご存知ないのではないのでしょうか。縁あって日本女子大に入学されたわけですが、女子大の周辺に残された名所・旧跡を知らずに卒業されることは全くもったいない事と思います。ぜひ、目白図書館玄関ホールの小展示を瞥見され、「目白と雑司ヶ谷の達人」クイズにチャレンジし、友人と連れ立って、地図を片手に散策してみませんか……。普段見慣れた風景とは異なる、目白と雑司ヶ谷の景観を目にすることと思います。

なお、8問以上ご存知の方は、「目白と雑司ヶ谷の達人」に認定いたします。

A 日本女子大の所在地である目白台の「目白」の地名の由来をご存知ですか。（展示Aを参照）

実は、私も当初は鳥の「メジロ」が多く飛来するから「目白」と言うのかと早合点していました。冬から早春の目白キャンパスには、メジロが飛来し、きれいな鳴き声を聞くことができます。でも、正解は……。

B 雑司ヶ谷の「鬼子母神」を正しく読めますか。

(展示Bを参照)

私も正しい読みを知りませんでした。学生の方々と「鬼子母神」の現地にうかがい、「鬼子母神」を管理されている日蓮宗の法明寺の方に正式な読み方を教えていただき、びっくりしたことを思い出します。一見単純と思われる読みさえも、現地に行っとうかがわないと、読みを誤るという典型例でしょう。ちなみに、目白駅から乗る都バスのアナウンスは「キシボジン」と発音されていますが……。さて、正しいのでしょうか。



- C 雑司ヶ谷の「鬼子母神」堂のシンボルは何でしょうか・・・？ ヒント、これを食べると「人間」の味がするって、本当？？？（展示Cを参照）

鬼子母神は、本来はインドの夜叉でした。人間の子供をさらっては食べていたとのこと。お釈迦さまに自分の子供を隠された鬼子母神は改心し、以後、安産と子育ての守り神になったとされています。その折りに、お釈迦さまが鬼子母神にこれを手渡し、人間を食べたくなったら、これを食べて我慢しなさいと諭したと伝えられています。



- D 「雑司ヶ谷霊園」にある著名人の墓所は誰でしょう。（展示Dを参照）

「雑司ヶ谷霊園」は、明治初年に開園された、東京都を代表する公立の墓園です。この霊園には、本学の創立者である成瀬先生をはじめ、文豪の夏目漱石、美人画の竹久夢二、など、著名人の墓所が数多く営まれています。墓所には、営まれた当時の政治状況や文化・宗教などの特徴がよく表われています。墓地景観を分析する力量もぜひ付けてほしいものです。

- E 日本女子大寮前の雑司ヶ谷商店街の古い町並みは、緩やかなカーブを描いていますが、なぜだかご存知ですか。（展示Eを参照）

かつて、雑司ヶ谷村の西方上流に丸池と呼ばれる溜池があり、そこから緩やかなカーブを描くように弦巻川が流れていました。弦巻川の流はきれいでしたが、昭和初期に埋め立てられてしまい、現在では、暗渠となっています。ちなみに、裏門横の陸橋を渡ってすぐのテニスコートの西脇には、弦巻川に架かっていた橋の欄干が二本残されています。当時をしのばせる貴重な欄干です。テニスの合間に一度ご覧ください。

- F 「新江戸川公園」（旧細川家の下屋敷）の冬の風物詩は何でしょう。（展示Fを参照）

江戸には、各大名の上屋敷や下屋敷が建設されていました。上屋敷や下屋敷には、立派な庭園が造営され、みごとな池や築山が築かれ、珍しい樹木などが植えられていました。新江戸川公園にも、池と築山はもとより、みごとな松や楓などが植えられています。この池に、冬には北国から多くの・・・が飛来して、池で羽を休めているかわいい姿が見受けられます。お出かけの節は、エサのパン屑をお忘れなく。また、余り積雪はないのですが、冬の風物詩として、松には・・・が施されます。これまた、金沢の兼六園まで行かなくとも、一見の価値ありです。



- G 「関口芭蕉庵」の周辺で4年ほど働いていた時、松尾芭蕉は何の仕事をしていたのでしょうか・・・。（1670～1677, 34～37才）（展示Gを参照）

松尾芭蕉は、伊賀上野・藤堂藩の下級武士でした。江戸幕府は、江戸の町に上水を供給するた

めに神田上水（神田川）の掘削と整備を行ないました。30代であった芭蕉は、この神田上水掘削・整備の現場監督のひとりとして、女子大の東南に位置する「関口芭蕉庵」の周辺で仕事をしていました。仕事の合間には俳句をひねっていたことでしょう。「関口芭蕉庵」には、弟子たちが建てたお堂や多くの句碑が建てられています。庵の中は静寂で、東京都内とは思えない別世界です。ぜひ、訪れて、一句。

H 「護国寺」を建立したのは誰でしょう。ヒントは「生類憐みの令」です。（展示Hを参照）

護国寺駅のすぐ北に、広大な境内を有する護国寺があります。護国寺は、犬公坊としても名高い5代将軍の・・・が、母の桂昌院のためにおよそ300年前の元禄年間に建立したきわめて格式の高い將軍家の寺院でした。明治以後は、將軍家の後裔もなくなり、境内には多くの明治の元勳たちの墓所が設けられました。早稲田大学を創設した大隈重信をはじめとして、日本の陸軍を創設した山形有朋、公家の三条実美などの墓があり、これまた、一見の価値あり。

I 「護国寺」境内で登れる日本の名山は、どの山でしょうか。数分で登れます・・・。ぜひ、一度どぞ。（展示Iを参照）

江戸時代、富士山は女人の登山を禁じていました。また、男性の登山も、精進潔斎の後、白装束に身を包み、「六根清浄」と唱えながら富士山に登りました。老人と子供はもとより、女性にとって、富士登山は夢のまた夢でした。そこで、関東の各地にミニチュアの「富士塚」が築かれ、富士山と同じように、表参道・裏参道も造られ、多くの人々が様々な願いを掛けながら「富士塚」に登りました。都内周辺には20～30か所の「富士塚」が残されています。護国寺参道の右手に「富士塚」があります。本来は、本堂前の平坦地にあったものを、ここに移築したものと伝えられています。



天保14年(1843)の江戸の絵図

J 音羽通りの「鳩山会館」の屋根の正面（南）の上に乗っている動物は何でしょう。ヒントは、知性の象徴です・・・。4羽も乗っています。（展示Jを参照）

音羽通りの東側高台に位置する「鳩山会館」は、戦後の日本を率いた鳩山一族の旧邸です。鳩山一郎・威一郎がこの邸宅に居住し、由起夫・邦夫兄弟も近年まで住んでいました。高台の上で南を向いた鳩山邸は、一見、洋館の外観を呈しながら、内部には和式の部屋もあり、和洋折衷の建築物です。庭には広い芝生が敷かれ、池には鯉が飼われ、多くの盆栽も置かれています。和洋混淆の庭と言えましょう。鳩山邸の屋根の上には、南面に白い4羽の・・・が取り付けられています。その眼差しは、南を真っ直ぐに見通しているように見えます。

K 先輩たちが代々「木植え式」で植えた木々のうち、日本女子大のキャンパス内に残っている最も古い木はどの木でしょう。（展示Kを参照）

日本女子大のキャンパス内には、多くの木々が茂り、緑が豊かです。私はこの木々の緑の多くが、卒業生の先輩たちが「木植え式」で代々植えてきた緑の財産であることを近年まで知りませんでした。先輩方が植えた現存最古の樹木は、図書館前の蘇鉄そてつの様です。およそ95歳とのこと。これを知って以後、キャンパス内の緑に感謝の念が生まれました。

いかがでしたか・・・。何問ご存知でしたか。（史学科教授）

日本女子大学図書館のご案内

◎はじめに

日本女子大学図書館は目白・西生田の両キャンパスにあり、本学の学生、教職員、卒業生など利用資格をお持ちの方なら両方の図書館を利用することが可能です。

ところで、皆さんは図書館を利用していますか？なんとなく足が遠のいている方、試験勉強やレポート提出等で、どうしても資料が必要なとき以外は利用しない方もいるかもしれませんね。

そんな皆さんに、いろいろな用途で、もっと図書館を利用してもらいたいので、図書館の簡単な紹介をしたいと思います。

新入生の皆さんも、入学して1年以上たっている皆さんもこのページを読んで図書館をのぞいてみてくださいね。

◎入館・利用カード交付

図書館には入館ゲートがあります。ゲートを通る際は各自の図書館利用カードが必要です。

カードの交付をうけていない方は学生証を持ってカウンターへどうぞ。即、発行します。このカードで図書の貸出もします。紛失しないように大切にしてください。

利用カードは目白・西生田共通です。



注意！

- ・ 飲食物の持ち込みはできません。(食べかすは資料の大敵です。)
- ・ 携帯電話の電源は必ずきりましょう。(話し声・呼び出し音は周囲に迷惑です。)
- ・ 目白では13cm×19cm以上の袋物は持ち込めません。ロッカーへお願いします。

◎図書館にある施設

本学図書館は開架式です。書架へ自由に行って資料をみることができます。大学図書館の蔵書は専門書が中心ですが、絵本や料理関係といったやわらかい本もあります。とりあえず、書架の間をあるいてみませんか？気に入った本が見つかるかもしれませんよ。

館内には図書館のしおり（目白版、西生田版）と以下のパンフレットがあります。新入生はオリエンテーション時に配布されています。図書館の利用に関する基礎知識がコンパクトにまとめられていて便利です。ぜひ、目をとおしてみてください。

目白図書館利用案内	西生田図書館利用案内
日本女子大学図書館利用案内—目白— 貸出と西生田相互利用	日本女子大学西生田図書館利用案内 1 貸出, 施設, 目白の図書館の利用
〃 図書の探し方	〃 2 図書の探し方
〃 雑誌と館内各施設	〃 2-2 図書のさがし方
〃 レファレンス・サービス (参考係)	〃 3 逐次刊行物とAVコーナー
	〃 4 参考係 (レファレンス・サービス)

図書館には以下の施設があります。用途にあわせてご利用を！

ブラウジングコーナー：当日朝刊および前日夕刊の新聞（外国語の新聞もあります。）や情報誌（ぴあ、オレンジページなど）があります。

共同研究室（目白）／グループ研究室（西生田）：図書館資料を使って、グループで学習、研究するための部屋です。

AVコーナー：ビデオ・カセットテープ・CDなどの図書館の資料と持参資料の再生ができます。

◎OPAC (Online Public Access Catalog…オンライン目録)

探している資料が本学に所蔵されているか知りたい場合はOPACが便利です。使いこなせば資料集めも簡単になります。検索方法等わからないことがあれば、図書館員までお尋ねください。

なお図書館ではOPAC講習会を開催しています。開催日や受講申込方法は図書館内に掲示しますので奮って参加しましょう！

☆OPACについて

- ・西生田地区の全蔵書、目白地区の蔵書で1990年4月以降受け入れのものと全洋雑誌が検索可能。(順次データ入力中ですが、OPACでヒットしなかった場合、目白図書館利用者はカード目録で検索してください。西生田図書館利用者は参考係に相談してください。)
- ・資料の所在場所(目白・西生田の図書館、研究室等)や貸出状況がわかります。
- ・和書・洋書・雑誌の区別なく、探すことができます。

自宅でインターネットができる方は、本学図書館のHPにアクセスして検索することもできます。(アドレスは<http://www.lib.jwu.ac.jp>です。)

◎貸出

図書と利用カードをカウンターまでお持ちください。貸出冊数・期間は掲示で確認してください。

※予約：貸出中の図書は予約できます。カウンターへ申し出てください。

※取り寄せ：目白図書館の資料を西生田図書館へ、西生田図書館の資料を目白図書館へ取り寄せることができます。(研究室等の資料は不可)カウンターへ申し出てください。

※継続：借りている図書を引き続き利用したい場合は、返却期限日までに図書と利用カードをカウンターまでお持ちください。予約がついている場合は継続できません。

注意！

- ・貸出は必ず本人が手続きしてください。利用カードのまた貸しはトラブルの原因になります。
- ・返却期限日厳守！一日でも返却が遅れると遅れた日数分だけ貸出停止になります。

◎おわりに

簡単ですが図書館を紹介させていただきました。

少しは様子がわかっていただけましたか？

もちろん、勉強のためだけでなく、暇つぶしに

利用されるのも歓迎します。

マナーを守って楽しく賢く利用してくださいね。

皆さんの来館をお待ちしています！

(館員・西生田図書館 山村いづみ)



編集後記 図書館の玄関ホールでは、ただ今史学科伊藤寿和先生企画の展示「^{あなた}貴女もなれるか目白と雑司ヶ谷の達人!!!」を行っています。新入生の皆さんも、是非一度足を運んでみてくださいね。巻頭のカットは、目白図書館で勤務の岸野美子さんにお願いました。図書館でも憩いのひと時が過ごせますように。(田口)